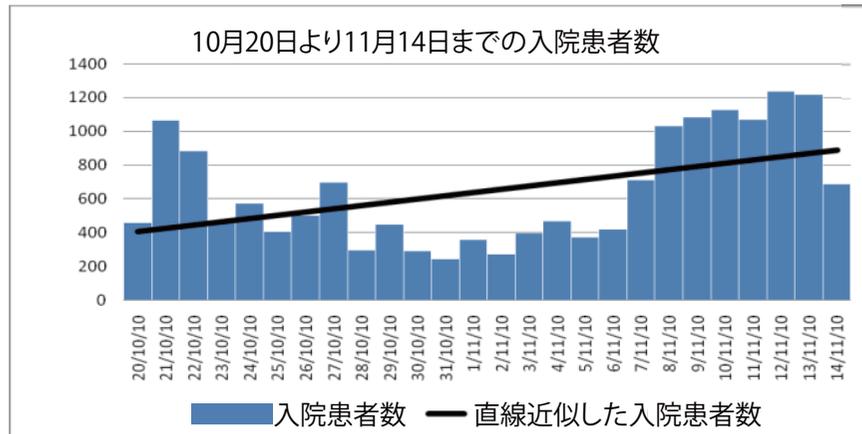




ハイチ保健省発表の日報

45週(2010年11月7日から13日まで)のアウトブレイクの状況は、アルティボニット県、中央県に引き続き、北県、北西県、西県で優勢です。患者数は二相性の上昇傾向を示しています。南県ではセントルイス市で感染が始まりました。入院死亡例はみられないものの、依然として拡大しています。



流行の始まりから、これまでの状況では、明らかにアルティボニット県で最も感染が多くみられており、これに北西県と北県が続きます。北県ではコレラの致死性がより高く、死亡率は29.2%におよんでいます。(表参照)

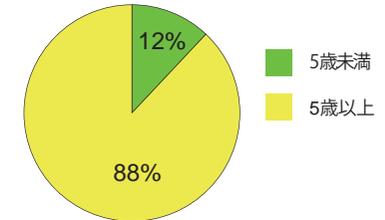
県名	日報					
	入院	退院	医療施設での死亡	地域での死亡	総死亡数	病院死亡率
アルティボニット	343	329	14	1	15	4.1%
中央	97	95	2	1	3	2.1%
グランダンス	0	0	0	0	0	0.0%
ニップ	0	0	0	0	0	0.0%
北	65	46	19	0	19	29.2%
北西	180	175	5	0	5	2.8%
北東	1	1	0	0	0	0.0%
西*	0	0	0	0	0	0.0%
ポルトープランス*	0	0	0	0	0	0.0%
南	2	2	0	0	0	0.0%
南東	0	0	0	0	0	0.0%

2010年10月20日から11月14日まで16,799人の患者が入院し、16,139例が生出し退院しました。計1,034人が死亡しました。

	11/14日	11/14日までの累積数
入院患者数	688	16799
退院患者数	648	16139
入院患者の死亡数	40	660
地域での死亡数	2	374
総死亡数	42	1034
入院患者死亡率	5.8%	3.9%

コレラ患者の年齢分布

性別による差はありません、5歳以上の年齢層が患者の多くを占めています。南東県、ニップス県、およびグランデアンセ県では、確認された症例は全くありません。



コレラが発生した県と発生した日付

